

計画の名称	相模原市橋本駅周辺整備推進事業（リニア中央新幹線の開業を見据えた広域的な交流や都市力を高める基盤整備（第1期））											
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	相模原市											
計画の目標	橋本駅周辺は鉄道3路線が乗り入れ、国道16号や圏央道ICが近接する交通の要衝であり、市における中心商業地として発展してきたものの、リニア中央新幹線神奈川県（仮称）の設置が予定される橋本駅南口地区については、駅前的大部分が県立高校跡地となっており、都市基盤が脆弱で整備が必要な既成市街地となっている。 そのため、土地区画整理事業による土地の高度利用や街路事業による広域ネットワークを形成する道路等の整備を進め、活力あふれ安心して暮らせる広域交流拠点都市を形成することや、交通広場を整備することにより、災害時における駅前の一時的滞留スペースの拡大を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	44,728	A	44,728	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R9末
1	<ul style="list-style-type: none"> 橋本駅へのアクセス道路における旅行速度を令和9年までに16.0km/hから23.0km/hに向上させる。 道路整備により、南口地区へのアクセス性を高めるとともに、交通の円滑化を図るため、橋本西通り線の旅行速度の向上を整備前と整備後で比較する。 	16km/h	km/h	23km/h
2	<ul style="list-style-type: none"> 災害時における駅前の一時的滞留スペースの収容可能人数の増加 交通広場を整備することによる都市基盤機能の強化を評価するため、災害時における駅前の一時的滞留者の収容可能人数の合計を整備前と整備後で比較する。（収容可能人数＝交通広場の面積㎡/2.5㎡/人） 	2600人	人	5320人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中核都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(都) 大西大通り線	道路改築 L=0.92km	相模原市	■	■	■	■	■	17,410	1.56	—
		新規																	
	A01-002	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(都) 橋本西通り線	道路拡幅 L=0.21km	相模原市	■	■	■	■	■	3,254	1.91	—
		新規																	
	A01-003	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(都) 橋本駅氷川線	道路改築 L=0.21km	相模原市	■	■	■	■	■	3,367	2.78	—
		新規																	
	A01-004	街路	一般	相模原市	間接	UR都市機構	区画	改築	橋本駅南口地区土地区画 整理事業（橋本西通り線 、橋本駅南口駅前通り線 、橋本駅東通り線他）	土地区画整理 A=13.7ha	相模原市		■	■	■	■	20,121	2.65	—
		新規																	
												小計						44,152	
	市街地整備事業	A13-005	市街地	一般	相模原市	間接	UR都市機構	—	—	橋本駅南口地区土地区画 整理事業	土地区画整理 A=13.7ha	相模原市				■	■	576	2.65
新規																			
											小計						576		

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況								
												R05	R06	R07	R08	R09											
一体的に実施することにより期待される効果																											
備考																											
											合計							44,728									

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 相模原市橋本駅周辺整備推進事業（リニア中央新幹線の開業を見据えた広域的な交流や都市力を高める基盤整備（第1期））

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合等	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 整合を図っている上位計画名を記載。（相模原市総合計画、相模原市都市計画マスタープラン、相模原市新道路計画）	
I. 目標の妥当性 2) 広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標の客観性・具体性・地域性	
I. 目標の妥当性 1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画・事業の熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

事前評価

チェック欄

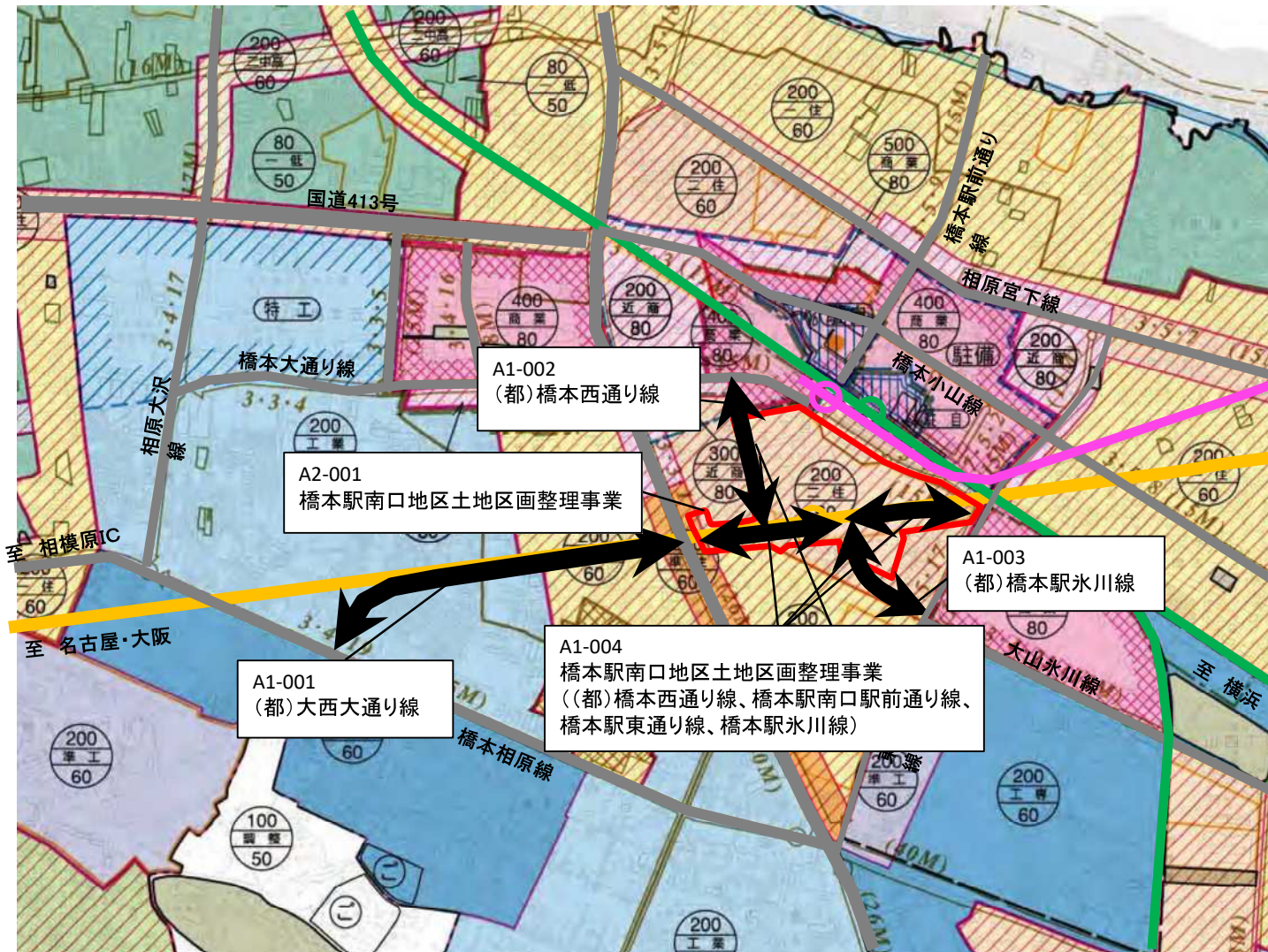
III. 計画の実現可能性

3) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。

○

(参考図面)

計画の名称	相模原市橋本駅周辺整備推進事業（リニア中央新幹線の開業を見据えた広域的な交流や都市力を高める基盤整備（第1期））		
計画の期間	令和5年度～令和9年度（5年間）	交付対象	相模原市



凡 例	
区画整理施工区域	
都市計画道路(予定)	
鉄道(JR在来線)	
鉄道(京王線)	
鉄道(リニア)	